

# Together



## 理事長賞・総代の方々からのメッセージ



理事長賞／実践心理学科  
松下 仁美

### ●自己の成長と出逢いへの感謝

淑徳大学に入学してから、あっという間に4年間が過ぎました。学業を頑張ることはもちろん、ボランティアやアルバイトなど様々な経験をすることができました。その中で、たくさんの人々と出会い、人と支え合うことの大切さを学びました。

4年間で経験したこと、学んだことをこれから的生活に活かし、社会人として精進していかたいと思います。お世話になった皆様に心より感謝いたします。



総代／教育福祉学科  
菊地 彩

### ●最高の学び舎

教育福祉学科の一期生として手探りの日々を送る中で、仲間や先生との出会いに恵まれ、夢に向かって努力し続けることが出来ました。淑徳大学で一生の友に出会えたことが、何よりの財産です。今後も4年間の思い出を胸に、子どもの心に寄り添える養護教諭を目指し、邁進していきたいと思います。

この4年間お世話になった全ての皆様に、心より感謝いたします。



総代／社会福祉学科  
秋元 伸一

### ●価値ある4年間

私の大学生活はとても充実したものでした。勉強漬け苦しい時もありましたが、ゼミやサークルの仲間の頑張りに後押しされ、私もより一層精進しようと思いました。ここまで辿り着けたのも、熱心にご指導くださった先生方、そして共に歩む仲間の存在があったからです。多くの方に支えられ、私にとって淑徳大学での4年間は大きな財産となりました。お世話になった皆様に心から感謝いたします。



総代／実践心理学科  
小見山 混人

### ●夢チャレンジ

大学では勉学に励み、研究にチャレンジして大変刺激的でした。先生方や友人達のおかげで、とても有意義な4年間を送ることができました。お世話になりました皆様に感謝いたします。

様々な情報に惑わされながらも縛られてしまうことがあるかもしれません、一度きりの人生は、夢ややりたいことがあれば、自分を信じて挑戦するべきだと考えます。これからも前へ歩を進めてまいります。



理事長賞／コミュニティ政策学科  
椎名 一斗

### ●学び続けた4年間

淑徳大学で学んだ4年間は、自分にとって本当に有意義な時間でした。特に、法学の先生から指導していただいた民法判例や行政法では、履修単位の通常授業も課外授業も大変興味深く、貴重な学びの経験を得ることができます。

サービス・ラーニングの実践的な学びを通しては、世代の違う人や地域の人々と出会い、人と人とがつながる大切さを学びました。これからは、大学で学び得たことを社会で役立てられるように精進していきます。



総代／コミュニティ政策学科  
中村 ひかる

### ●周囲の方々に感謝

淑徳大学での4年間は何ものにも代えがたい貴重な時間でした。大学生活では、戸惑うことや悩むことも多くありました。今思えばその一つひとつが私を成長させてくれたのだだと感じます。また何より、周囲の方々の支えがあったからこそ4年間を過ごすことが出来ました。

これからも周囲の方々への感謝を忘れず、日々成長していきたいと思います。お世話になりました皆様、本当にありがとうございました。



理事長賞／看護学科  
蛭田 真由美

### ●諦めずに前進

淑徳大学での4年間は、毎日が有意義で貴重な時間でした。机上での学習や臨地実習など大変なことも多くありました。挫けそうな時も諦めず前に進むことができたのは、友達や先生方が支えてくれたおかげです。何より、実習を通じて触れ合った患者さんから、たくさんことを学び、また、自分自身を見つめなおし成長させて頂く機会を得ました。

これからは大学での学びを大切にして、看護師として、そして人として成長していきたいと思います。お世話になった皆様、あたたかく支えてくれた家族、本当にありがとうございました。



総代／看護学科  
大須賀 瑞己

### ●たくさんの人に支えられた4年間

大学での4年間は、私にとってかけがえのないものとなりました。新しい知識を得る喜び、実習やボランティアサークルで多くの人の出会いなど、様々な場面が今でも鮮明に蘇ります。時には自分の未熟さを嘆き、思い悩むこともあります。そのような時には、いつも友人や家族、先生方が支えてくれました。たくさんの支えがあったからこそ、今の私がいるのだと実感しています。淑徳大学で培ったものを糧に、人として、看護師として成長していくように努力していきたいと思います。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。



理事長賞／国際コミュニケーション学科  
塚本 彩佳

### ●学生生活4年間を感じたこと

私は、大学生活で自分なりに夢を実現し、苦手意識を克服できたのではと満足しています。大学進学後は国際的な視野を広める為、ブラジルやシアトルの海外研修へ積極的に参加し、企業がグローバル展開していく上に、固定観念や先入観に囚われないようにすることの重要性を学びました。今後もより一層成長できるよう、日々努力を重ねたいと思います。在学生の皆様、今後のご健勝とご活躍を心からお祈りします。



総代／人間環境学科  
足立 瑠花

### ●私が淑徳大学から得たもの

淑徳大学で過ごした日々は、かけがえのないものでした。教育実習や卒業論文等、仲間と支え合い乗り越えたことは数多くあります。何より、共に切磋琢磨し、同じ目標に向かって努力することの大切さと喜びを学びました。そして、人の温かさを身をもって感じることができました。淑徳大学で得たものを胸に、これからも精進し続けてまいります。お世話になった全ての方々に心より感謝申し上げます。



総代／経営コミュニケーション学科  
清水 美峰湖

### ●考える力

私は淑徳大学での4年間を通して、「考える力」を学びました。多くの先生方から物事や人間関係など、社会に出る上で必要な「見極める力」も教えて頂きました。4年次では部活動に於いて皆の意見を聞いてまとめる難しさに直面し、解決に時間が掛かりましたが、得られることも沢山ありました。後輩達には相手の立場を理解しながら、「考える力」を身につけて積極的に行動してほしいです。



総代／文化コミュニケーション学科  
山口 未紗子

### ●挑戦することの難しさと大切さ

淑徳生の大半は4年間で卒業すると思いますが、私は留学のため1年遅れての卒業となりました。留学に限らず、新しいことに挑戦するには勇気がいります。挑戦したものの、辛くて逃げたいときもあります。それでも挑戦したという事実は必ず自分の糧になると実感しています。貴重な経験をさせていただいた大学、5年間お世話になった方々に感謝すると共に、今後も大学での経験を励みに精進していきたいです。

## 学長からのメッセージ

学長 足立 叡



我が淑徳大学を卒立っていかれる卒業生の皆さんご卒業を心からお祝い申し上げます。そしてまた、卒業後のこれからの方々一人ひとりの人生が実り豊かで幸多からんことを切に願うものであります。

卒業生の皆さんは、4年前、あの東日本大震災の発生とその直後の被災地の惨状に誰もがまだなす術を失っていた平成23年4月に我が淑徳大学に入学されました。そこでは、多くの人が被災地の皆さんと犠牲の方々を悼む思いでお祝いごとを自肅する中、本学もそうした思いを共有し、その年の入学式を執り行うことを自肅しました。こうした意味で、本年の卒業生の皆さんは4年前の入学の時点で、被災地の皆さんとの痛みや苦しみ、そして悲しみを少しでも共有していくという姿勢で本学での大学生活のスタートを切られたのだといえましょう。このことは、それから4年間の本学での皆さんの学びにとってかけがえのない意味をもったことだと思います。卒業生の皆さん4年間の在学中、本学は全学挙げて、学生の皆さんによる被災地への継続的な支援活動を続けてきました。そこで本学の支援活動への向き合い方（「してあげる支援」ではなく「共に働く支援」）そのものの中に、皆さん、これから皆さんの母校となる我が淑徳大学の「建学の精神」を体験的に、深く学びとられたに違いないと思います。

我が淑徳大学は、既に皆さんもご承知の通り、大乗佛教の精神に基づく「利他共生の理念」と、それを基盤として、現実の人間や社会の問題や課題に関わり、そのアクチュアルな関わりの中で学ぶ「実学教育」をその建学の精神としています。したがって、皆さんが学ばれた学部、学科がいかなる学部、学科であろうと、皆さんのが淑徳大学での4年間の学びはすべからく「利他共生の理念」と「実学教育」に基礎づけられています。

「利他共生の理念」に支えられた「実学教育」を身に付けられた「淑徳大学の卒業生」としての皆さんにこれから期待されるのは、皆さんひとりのなかに豊かに培われた「他者と共に生きる力」に支えられたものとして、この4年間で修得されたそれぞれの専門の学びを社会の中で活かしていっていただきたいということです。

最後に、我が淑徳大学の学祖である長谷川良信先生が自らの生き方の核とされ、また座右の銘とされた「感恩奉仕」という言葉についても、卒業生の皆さんには、この卒業にあたってその意味するところを改めてかみしめていただきたいと思います。この言葉は、私たちが誰しも自分の力だけで生きていけないのであり、必ずや他に生かされて生きている存在であり、そのことを自覚したとき、他を生かすという実践が自ずと生まれてくるという、「利他共生の理念」の実践的基盤を意味するものです。こうした建学の精神の体現を通して、これから我が淑徳大学が皆さんの中でも真に「我が母校」として生き続けることを祈念しています。

## ご卒業おめでとうございます



国際コミュニケーション学部長  
星野 英樹



看護栄養学部長  
鈴木 恵理子



コミュニティ政策学部長  
山本 功



総合福祉学部長  
佐藤 俊一

## 平成26年度 各賞受賞者

### 総合福祉学部 各賞受賞者

編入生総代 社会福祉学科	古滝 達也	全国保育士養成協議会長賞 教育福祉学科 小澤 美沙
浄土門主賞 教育福祉学科	向後 夕貴	日本社会福祉士養成校協会長賞 社会福祉学科 大藤 未来
日本精神保健福祉士養成校協会長賞 千葉県私立大学短期大学協会会長賞		社会福祉学科 長谷川 未来
長谷川研究奨励賞 教育福祉学科	鎌田 明沙美 山本 安季子 教育福祉学科 石橋 涼子	教育福祉学科 澤部 真理野 教育福祉学科 兼城 みなみ 実践心理学科 野田 愛美
文化コミュニケーション学科 人間環境学科 特別賞		
卒業論文・制作コンテスト入賞者 【人間環境学科】		
最優秀賞 小布施 圭 【経営コミュニケーション学科】		
優秀賞 塚本 彩佳 【文化コミュニケーション学科】		
最優秀賞 浅野 愛実 【経営コミュニケーション学科】		
優秀賞 菊地 彩 【文化コミュニケーション学科】		
最優秀賞 由李子 佐藤 千華 【文化コミュニケーション学科】		

### 看護学部 各賞受賞者

浄土門主賞 看護学科	田中 澄	一般社団法人日本私立看護系大学協会会長表彰 看護学科 岩崎 明日香
国際コミュニケーション学部 各賞受賞者		
編入生総代 文化コミュニケーション学科	申 朝贏	
浄土門主賞 人間環境学科	森 梓	
特別賞 人間環境学科	太田 晴奈	
卒業論文・制作コンテスト入賞者 【人間環境学科】		
最優秀賞 平山 里佳 【経営コミュニケーション学科】		
優秀賞 片山 大樹／丸山 敬大 【文化コミュニケーション学科】		
最優秀賞 高橋 沙織 【文化コミュニケーション学科】		
優秀賞 佐藤 俊一 【文化コミュニケーション学科】		
最優秀賞 佐藤 千華 【文化コミュニケーション学科】		

### 国際コミュニケーション学部 各賞受賞者

長谷川研究奨励賞 文化コミュニケーション学科	内藤 文彦
---------------------------	-------



## 卒業おめでとう！

今、皆さんは全力で駆け抜けた 4 年間のゴール地点にいます。  
 そしてその場所は、皆さんの夢のスタート地点です。走り続ければ、  
 きっと夢は叶います。

——君に光あれ

### 千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部  
 大学院総合福祉研究科  
 〒 260-8701  
 千葉県千葉市中央区大巣寺町 200  
 TEL : 043-265-7331

### 千葉第2キャンパス

看護栄養学部  
 〒 260-8703  
 千葉県千葉市中央区仁戸名町 673  
 TEL : 043-305-1881

### 埼玉キャンパス

国際コミュニケーション学部  
 経営学部 教育学部  
 大学院国際経営・文化研究科  
 〒 354-8510  
 埼玉県入間郡三芳町藤久保 1150-1  
 TEL : 049-274-1511

### 東京キャンパス

人文学部 淑徳大学短期大学部  
 〒 174-0063  
 東京都板橋区前野町 2-29-3  
 TEL : 03-3966-7631

### 通信教育部

〒 174-0063  
 東京都板橋区前野町 5-8-7  
 TEL : 03-5392-5768

### 池袋サテライト・キャンパス

〒 171-0022  
 東京都豊島区南池袋 1-26-9  
 MYT 第 2 ビル 7F  
 TEL : 03-5979-7061

ゼミの集合写真撮影・提供 株式会社アイガー